

子育てひろば事業（地域子育て支援拠点事業）の実施方法について

1 目的

北区児童館において、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供（地域子育て支援拠点の設置）することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。

2 実施方法

児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 6 条の 3 第 6 項に基づき実施される事業とし、原則、こども家庭庁が定める「地域子育て支援拠点事業実施要綱」に定める「連携型」での実施とする。

基本事業	北区児童館における実施方法
1 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進	1 妊婦・乳幼児親子が安心して利用できる環境づくり等
2 子育て等に関する相談、援助の実施	2 子どもなんでも窓口の実施
3 地域の子育て関連情報の提供	3 情報コーナー等の設置
4 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月 1 回以上）	4 子どもの成長支援、親の子育て力の向上支援に資するプログラムの実施

連携型による実施

実施場所 | 概ね 10 組の子育て親子が一度に利用しても差し支えない程度の広さを確保できる既存の乳幼児専用スペース等

開設日 | 原則、週 3 日以上、かつ 1 日 3 時間以上

▶ 北区では、週 5 日開設することとする。

職員配置 | 子育て親子の支援に関して意欲のある者であって、子育ての知識と経験を有する専任の者を 1 名以上配置すること（非常勤可）。児童館職員のバックアップを受けることができる体制を整えること。

▶ 配置する職員は、子育て支援員専門研修（地域子育て支援コース）の「地域子育て支援拠点事業」の研修を修了していることが望ましい。

▶ 配置する職員は、フォローアップ研修及び現任研修その他各種研修会やセミナー等に積極的に参加すること。

設備等 | 授乳コーナー、流し台、ベビーベッド、遊具その他乳幼児を連れて利用しても支障が生じない設備を有すること。